

日本パペットセラピー学会第19回大会

日本パペットセラピー学会第19回大会は、2025年10月19日（日）に開催されました。

【テーマ】 パペットセラピーの豊かな可能性 ～それぞれの場で寄り添うパペット～

【日 時】 2025年10月19日（日）9:30～16:40

【会 場】 社会福祉法人全国心身障害児福祉財団ビル7階大会議室

【大会長】 矢崎育子

【参加者】 会員35名、非会員38名（内学生6名。講師・アルバイト含む）計73名

【プログラム】 以下のとおり

9月29日（日）

●受付・抄録集販売 9時15分～

大 会 9時30分～16時

総合司会 高村 豊（副理事長）

●開会の辞 9時30分

東 義也（理事長）

●大会長挨拶・講演 9時33分～10時23分

座長 東 義也（理事長）

講師 矢崎育子（山梨腹話術研究会・パペット合唱団主宰・理事）

●演教育講 10時30分～11時20分

座長 中下 富子（副理事長）

「認知症の備えとケアにおけるセラピーの可能性～オレンジカフェとパペットセラピーの効果～」

講師 狩野 英美（元山梨県立看護実践開発研究センター主任教員・公益社団法人山梨県看護協会訪問看護ステーションほっと・ほっと韮崎、認知症看護認定看護師）

＜昼食・休憩～12時35分、書籍・教材等販売（～12時20分）＞

●一般演題 12時40分～13時25分

座長 高村 豊（副理事長）

発表者（各発表10分・質疑応答5分）

口演1 「医療機関でパペットセラピーを活用した認知症ケアの実践報告」

塩川 幸子（医療法人財団湖聖会 湖山リハビリテーション病院・認知症看護認定看護師）

口演2 「非行/犯罪被害少年とその家族を対象としたパペットセラピーワークショップ」

森平 直子（東京科学大学保健管理センター）

口演3 「通所施設を利用している在宅重症心身障害者へのパペットセラピー」
中下 富子（群馬パース大学看護学部）

●シンポジウム 13時30分～14時30分

「なぜパペットセラピーなのか～パペットセラピーだからできること～」

コーディネーター 岡 信行（理事）

シンポジスト

「現場で生きる腹話術とパペットの可能性」

中西 けい子（腹話術師）

「集団を対象としたパペットセラピーの実践」

千葉 俊一（腹話術教室シャロームパペット仙台主宰）

「パペットセラピーは楽しくて豊かなコミュニケーションツール」

中澤 綾（腹話術研究会パペット合唱団）

< 休憩 > 14:30～14:42

●ワークショップとディスカッション 14:42～15:40

「パペットセラピーの豊かな可能性を探る～それぞれの場で寄り添うパペット～」

コーディネーター 出山 雅章（理事）

ワークショップ

・「パペット合唱団と歌おう」

矢崎 育子・パペット合唱団員（山梨腹話術研究会パペット合唱団主宰）

・「パペットでアイスブレイク」

東海林 照子（笑顔がいっぱい保育腹話術てるぼ主宰）

●閉会の辞 15:45～15:55

高村 豊（副理事長）

総会 16時00分～16時35分

議長 東 義也（理事長）

書記 岡 信行（理事）